

ENAGEED活用事例

西南女学院
中学校・高等学校

学校の特色あるカリキュラムを
活かし学校目標を達成する



ENAGEED

西南女学院中学校・高等学校とは

福岡県にあるキリスト教系の中高一貫校。

女子教育(将来の自分のために)・国際化教育(世界へつながる未来)・キリスト教教育(他者への思いやりの心)の3つを軸にした活動を行っている。

取り組みの背景

①取り組みの形骸化

インテグレーションという統合学力教育をテーマとしたカリキュラムを学校の魅力として行っていたが、長年行っていく中で形骸化してしまい、学校の魅力として**再度打ち出し直しが必要**だと感じていた。

②自分で進路を切り拓く力が弱い

高校3年生を見ていたときに、自分の力で進路を切り拓く力が弱いと感じていた。**誰かの指示を待っている姿や、受験をする間際にならないとエンジンがかからない姿**を見て、自分の可能性を信じ、早くから行動できるような力を育成する必要があったと感じた。

取り組み

①カリキュラムの見直し

学校教育目標から逆算し、カリキュラムの再構築を行った。（次のページに記載）

各学年のテーマを決め、身につけさせたい力より逆算して取組内容を決めた。どの学年でも表現する力を身につけさせたいという思いから、**年に3回以上、発表する機会を設けた。**

②自分で自分の進路を切り開くために自分で行動できる力を身につける

自分で自分の進路を切り拓くためには、**自分が何を行えばいいのかを生徒に考えさせることが重要**だと考えている。毎年行っている自分のことを語る機会を利用して、1年生では「より良い自分になるために」をテーマに考え、抱負として語ることを行った。具体的にはvol.2にある「デキナイデキル」のワークを使用し、自分の考えるより良い自分を記載し、今そうならない理由を3つ考えて「どうすれば」を考えさせることで、こうしたらなれるという具体的な行動を考えさせた。**自分の起こせるアクションを考えさせることで、自分自身で切り拓く方法を理解させた。**

成果

他の学年に比べて、**どのようなことに対してもポジティブに受け入れていると感じる。**ほとんど違う小学校から入学し、全く新しい人間関係を築いていく中でも、お互いに受け入れる姿勢があり、今までであったような人間関係のトラブルもほとんどない。また、テストなどに対しても早く受けてみたいとポジティブに捉えられるようになった。

学校の魅力を引き出すカリキュラムの見直し

学校教育目標から逆算し、カリキュラムの再構築を行った。
学年のテーマを決め、身につけさせたい力から逆算して
取組内容を決めた。

【教育目標】

世界に向けて自分の将来を切り拓く生徒

【学年テーマ】

- 1年生: 相手を理解し、認めることができる生徒
- 2年生: 世界に目を向けることのできる生徒
- 3年生: 自分の考えを表現・行動できる生徒

インテグレーション		学校教育目標：世界に向けて自分の将来を拓く生徒	
学期 配当	年間指導計画	育成する学力と評価	
1年	10	異文化理解 スキルの提示 ・聞く力をつけるために、メモの取り方、ポイント（キーワード）のつかみ方を学ぶ。 ・データや資料の整理や資料の読み取り方と効果的な表現方法を学ぶ。 ・エナジード CORE Vol.1「次の時代に求められる、人の力」に取り組み ・読解力・語彙力向上プログラム	【育成をめざす学力】 ・目的意識や課題意識をもって必要な情報を集めることができる力 ・情報を正しく理解し、整理することができる力、また、効果的に表現することができる力 ・他者の良さを認め、他者から学びながら協力して活動できる力 ・調べたことがらを効果的にまとめ、表現することができる力
	16	・エナジード CORE Vol.2「描いた未来を実現する力」 Vol.3「他者の世界を拓く力」に取り組む ・課題解決に向けて、資料や情報を活用する方法を学習する。 ・発表する時の効果的なまとめと表現方法を学ぶ。 ・読解力・語彙力向上プログラム	【評価基準・評価項目】 ・必要な情報を収集し、それを整理、理解することができる。 ・他者と協力しながら、テーマを設定し、課題解決に向けて取り組むことができる。 ・自分の考えを効果的に表現できると同時に、相手の意見に対して客観的に評価できる。
	9	・グループディスカッションの方法を知り、意見をまとめる。 ・効果的な表現方法で発表ができるようにする。 ・全体発表を通して客観的な相互評価や批評ができるようにする。 ・読解力語彙力向上プログラム	

【評価基準・評価項目】

- ・必要な情報を収集し、それを整理、理解することができる。
- ・他者と協力しながら、テーマを設定し、課題解決に向けて取り組むことができる。
- ・自分の考えを効果的に表現できると同時に、相手の意見に対しても客観的に評価できる。

月	日	INT (火曜3h)	HR (火曜4h)
4月	20日	コラム学習①	学習ストーリー
	27日	キャリアパスポート・GW の宿題&過ごし方について	キャリアパスポート・中間考査に向けて
5月	18日	エナジードVol.1Lesson00	エナジードVol.1Lesson00
	25日	エナジードVol.1Lesson01	ベネッセ学力推移調査結果
6月	8日	旧師へのお手紙	中間考査ふりかえり 「生活・学習習慣を見直そう」(進路サポート)
	15日	エナジードVol.1Lesson02	期末考査に向けて (6月25~29日)
	22日	エナジードVol.1Lesson03	ミッションマンスHR
7月	13日	学年集会 (夏休み中の生活について) 宿題一覧表配布と説明	委員・保決め、期末考査結果返却と振り返り、 キャリアパスポート・夏休み計画表の記入 など
夏休み課題		「自分について知ろう」(進路サポート)	
8月	31日	エナジードVol.1 (LEAF) まとめ	夏休みを振り返って・2学期に向けて
9月	7日	コラム学習②	讚美歌コンクール (9月13日) に向けて
	14日	エナジードVol.1 (LEAF) 発表会	キャリアパスポート
	21日	コラム学習③	中間考査に向けて (9月30日・10月1日) 計画
	28日	読解力育成プログラム①	
10月	5日	読解力育成プログラム②	
	13日	エナジードVol.2Lesson01	中間考査の振り返り
	19日	エナジードVol.2Lesson02	ミッションウィーク HR
11月	26日	エナジードVol.2Lesson03	コラム学習④
	9日	読解力育成プログラム③	
	16日	エナジードVol.2LEAF (期末試験に向けて)	エナジードVol.2LEAF (期末試験に向けて)
	30日	読解力育成プログラム④	
12月	7日	エナジードVol.3Lesson01	クリスマスのHR
	14日	エナジードVol.3Lesson02	期末考査の振り返りと冬休みの学習計画記入
	21日	エナジードVol.3Lesson03	キャリアパスポート 学年集会 (冬休み中の生活について・他)
1月	18日	エナジードVol.3 (発表準備)	エナジードVol.3 (発表準備)
	25日	エナジードVol.3 (発表準備)	
2月	1日	エナジードVol.3 (発表準備)	エナジードVol.3 (発表)
	8日	西南イングリッシュデイ説明～準備	
	15日	西南イングリッシュデイ準備	学年末考査に向けて (2月24~28日)
3月	22日	コラム学習⑨	西南イングリッシュデイ準備
	8日	西南イングリッシュデイ (3/11) 準備	
	15日	学年末考査振り返り・指導要録記入資料作成・キャリアパスポート 春休みの過ごし方 (2年生進級への心構え)	

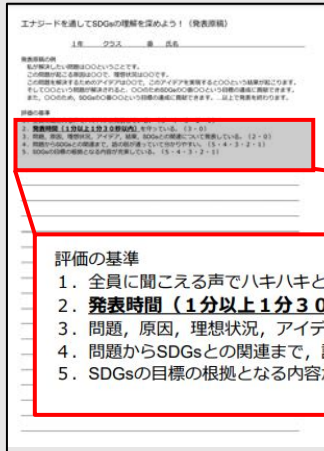
カリキュラム作成の工夫ポイント

表現の機会を設けるため、エナジードのテキストを行うだけではなく、LEAFを使用した発表の機会を年に3回設けている。
発表の機会を設けることで表現力の育成を図っている。

発表を利用した評価方法

<口頭発表>

vol.1 気づく力・発案する力・実現する力 × SDGs

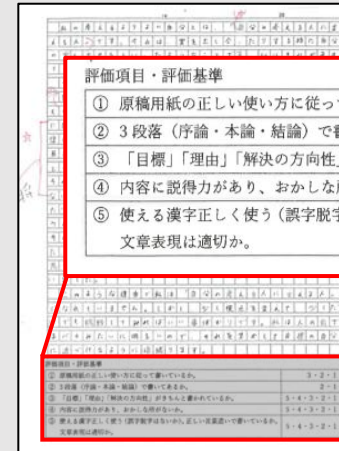


評価の基準

1. 全員に聞こえる声でハキハキと発表している。(5・4・3・2・1)
2. 発表時間(1分以上1分30秒以内)を守っている。(3・0)
3. 問題、原因、理想状況、アイデア、結果、SDGsとの関連について発表している。(2・0)
4. 問題からSDGsとの関連まで、話の筋が通っていて分かりやすい。(5・4・3・2・1)
5. SDGsの目標の根拠となる内容が充実している。(5・4・3・2・1)

<作文発表>

vol.2 デキナイデキル × より良い自分になるために



評価項目・評価基準

① 原稿用紙の正しい使い方に従って書いているか。	3・2・1
② 3段落(序論・本論・結論)で書いているか。	2・1
③ 「目標」「理由」「解決の方向性」がきちんと書かれているか。	5・4・3・2・1
④ 内容に説得力があり、おかしな所がないか。	5・4・3・2・1
⑤ 使える漢字正しく使う(誤字脱字はないか)。正しい言葉遣いで書いているか。文章表現は適切か。	5・4・3・2・1



【発表の評価観点】

カリキュラムの評価より

- ・必要な情報を収集し、それを整理、理解することができる。
- ・他者と協力しながら、テーマを設定し、課題解決に向けて取り組むことができる。

→①テーマにあった項目の整理、説得力、根拠をもとにした評価観点

- ・自分の考えを効果的に表現できると同時に、相手の意見に対しても客観的に評価できる。

→生徒同士の評価も行わせている。

②発表方法に必要な評価観点

発表方法	評価観点
作文	構成/表現方法/原稿用紙の使い方
口頭	声の大きさ/話し方/時間
プレゼンテーション	スライドの工夫/時間

①テーマにあった項目の整理、説得力、根拠をもとにした評価観点 + ②発表方法に必要な評価観点 で生徒を評価

自分で自分の進路を切り開くために自分で行動できる力を身につける

「より良い自分になるために」をテーマに考え、抱負として語ることを行った。

vol.2にある「デキナイデキル」のワークを使用し、**自分の考えるより良い自分を記載し、今そうっていない理由を 3つ考えて**

「どうすれば」を考えさせる ことで、こうしたらなれるという具体的な行動を考えさせた。

自分の起こせるアクションを考えさせることで、自分自身で切り拓く方法を理解させた。

2021年度・理念「より良い自分になるために」 ENAGED CORE vol.2 lesson 1 活用

私の考えるより良い自分とは—

自分の考えを人に伝える人

今、そうっていない理由は何だろう？

なぜなら 自分に自信がないから

なぜなら 少し自信があるから

なぜなら 自信があるから

どうすれば？

どうすれば？

どうすれば？

どうすれば！

自分に自信をもつ

「どうすれば」といって人に伝える

自分に自信をもつ

「どうすれば」といって人に伝える

自分に自信をもつ

「どうすれば」といって人に伝える

「より良い自分になれる！」

上のまともを、右ページで文章にしよう！（下書き）

解決策を具体的に書く
どうすれば...
具体的に書く
その解決策について

① 授業開始の正しい方法に気づいているか。	3・2・1
② 3段階（学級・本組・期組）でできているか。	2・1
③ 「目標」「理由」「解決の方向性」がきちんと書かれているか。	5・4・3・2・1
④ 内容に誤りがあるか、おかしな所がないか。	5・4・3・2・1
⑤ 漢字とかなで書く（誤字脱字はない）、正しい言葉遣いで書いているか、文章表現は適切か。	5・4・3・2・1

そもそも何も考えていない時がある。の王っです。「自分
に自信がない。のは、少しでも...からたまには自分を
信じてみたら解決すると思いました。「自分の考えが採
用されない前提に考えている」というのは、自信がない
という事が大元で、単に否定される事が怖いからです。
それにその愚の連鎖で王っ目の「そもそも何も考えてい
ない時がある」になっていきます。後から「言えは良か、

こうすれば！

自分に自信をもつ

「どうすれば」といって人に伝える

「本当にそれがいいの？」
って考えるようにする。

↓

「より良い自分になれる！」

上のまともを、右ページで文章にしよう！（下書き）

解決策が甘すぎる
どうすれば...を具体的に
しかり書く、実行でき
その解決策について

▲ vol.2「デキナイデキル」の考え方を使ったアウトプットシート。

より良い自分になるための解決策を作文形式で記入した。

取り組みのポイント

より良い自分になるための解決策を、自分で行動に移せるよう具体的に考えさせている。